

交通に着目した自県と国土の観光学習

—新幹線・離島空港・朝鮮通信使の活用—

玉川大学教育学部 教授 寺本 潔

① 交通の記号に着目しよう

『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（以下、地図帳）p.7～8の「地図帳の使い方①」には、「交通の記号」として陸上交通（鉄道・道路）と水上交通、航空交通の3種の地図記号が解説されている。このうち、訪日観光客が最初に利用するのは、水上交通（船の航路）と航空交通（国際便・国内便ともにある空港）だ。とりわけ、近年、大勢の観光客を乗せたクルーズ船が、プサンやシャンハイ（上海）、台湾のキールンからやってくる時代になっている。旅行代理店でもクルーズ観光を解説したパンフレットが置かれているので関心を寄せたい。しかし、児童の目を引くのは、何といても新幹線だ。今や、北海道新幹線の開通もあいまって四国を除けば全国に新幹線網が拡大している。

一例を挙げよう。東北地方の図幅で、青函トンネルが掲載されているページ（地図帳p.44、図2）を開いて見る。そこには、新青森駅まで伸びている新幹線のルートと、北海道新幹線の予定線が読み取れる[※]。次に、日本列島の地図（p.16～18）を開かせ、「地図帳を使って東京駅から新幹線はやぶさに乗って北海道まで旅行してみよう！」と指旅行（人さし指を自分の分身に見立てて移動路沿いにさす指導法）をうながすのである。この指導によって、少なくとも関東地方と東北地方の図幅をていねいに読みきっかけが生まれる。

新幹線路線を示す記号に沿って最短時間で走行する「はやぶさ」が停車する東京→大宮→仙台→盛岡→新青森→新函館北斗の6駅名を順になぞらせつつ、指の先に読み取れる途中の風景や地名、産物記号などを発言させていく。可能なら、黒板




図1 JR東日本が展開する青森・函館の旅行パンフレットの長い辺（横）にこれらの駅名を縦書きで板書し、間を新幹線の路線記号（）で結び、東京—新函館北斗駅間の直線距離約700km（地図帳p.16～18の下部に示されている「かんたんものさし」を活用）と走行時間4時間2分（最速）の数字を板書し、「はやぶさ」の写真を貼るとよい。



図2 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.44

[※]北海道新幹線は、新函館北斗駅まで2016年3月26日に開業しているが、それ以前に配付された現行の地図帳では建設中になっている。指導の際にすでに開通していることを補足したい。

さらに、関東地方（地図帳p.35～36）と東北地方の拡大図（地図帳p.44～46）を開かせ、新幹線が通過する都道県名（東京・埼玉・茨城・栃木・福島・宮城・岩手・青森・北海道）やめだつ産物記号（栃木県鹿沼市のいちご、福島県二本松市の家具、福島市のなしともも、宮城県白石市のこけし、岩手県一関市の秀衡ぬり^{ひでひら}、青森県のほたて貝とりんご、函館市の水産加工品などを沿線の観光みやげとして扱う）にも着目させれば、北日本の位置や特徴がしっかりと定着するだろう。

② 離島空港に着目しよう

今度は、南に旅してみよう。地図帳p.13～14の南西諸島の図幅をながめれば、「国内便だけの空港」を示す記号（✈）を沖縄県内に合計11見つけることができる（国際線もある那覇空港と訓練用の下地島空港は除く）。児童に「那覇空港から乗りついで離島を観光しよう」と誘うとおもしろい。例えば、宮古列島・八重山列島を旅する観光パンフレットに掲載されている美しい写真を提示しつつ、「こんなに青い空と海は暖かい気候と暖流（黒潮）のおかげです。地図帳p.72⑥「日本各地の気温と降水量」の表には那覇がのっていますが、2月の平均気温は那覇市（17.1℃）よりも石垣市（19.1℃）はもっと暖かいよ。自分たちの住む県と石垣市の緯度を比べてみよう」と切り出せば、冬の沖縄への旅が理解できる。さらに八重山列島の地図（p.15⑥）でパイナップルの産物記号に気づかせれば、「スーパーで石垣島のパイナップルが売っていたよ。甘そう！」「私も石垣島に行ってみよう」と旅心を誘えるに違いない。

③ 江戸時代の交通路と朝鮮通信使に着目しよう

6年生の単元「日本の歴史」でも観光と交通は扱える。p.69②「江戸時代の交通路」（図3）に着目しよう。五街道の整備が伊勢参りや日光詣、こんびら参りに役だったことがわかる。「東海道」や「中山道」などの名称を新幹線名や歴史街道名で聞いたことがあると児童から引き出せるだろう。さらに、青色で印字された「朝鮮通信使の航路」にも着目させたい。中国地方の拡大図（p.23～24）を開かせて「瀬戸内海で朝鮮通信使が立ち寄った港町はどこでしょうか？」と発問すれば岡山県の牛窓、広島県の旧鞆町、下蒲刈島の3か所を地図帳でも判読できる。珍しい衣装や楽器を伴った朝鮮通信使の一行は、人々の好奇の目に映ったに違いない。訪日観光客が急増する今日、ターバンやサリーをまとった外国人の姿に目を奪われる現代の私たちの気持ちと通じるだろう。



図3 「楽しく学ぶ小学生の地図帳」
p.69②江戸時代の交通路

◆観光授業の玉手箱



- ① 新幹線路線に着目させて地図上で指旅行をうながせば、楽しみながら県名と産物学習を展開できる。
- ② 「国内便だけの空港」に降り立つ自分を想像させれば、地方旅の魅力が感じられる。
- ③ 人々が行き来した五街道や朝鮮通信使の航路をたどると江戸時代にタイムトラベルできる。